まちづくり計画 新たな価値創造に期待

■目指す都市構造 イメージ



発行元

新潟青陵大学 現代社会とメ ディア 編集:S

るまちづくり』、『持続可 の調和を図ることを目指 す」である。 能なまちづくり』を進めま

え方を踏まえて「経済」 |年の都市像はSDGsの考 「社会」「環境」の三側面 これに基づき、2030

が重要だと述べている。 側面の豊かさを高めること し、その上で、それぞれの

画素案を発表した。理念 まちづくりに関する総合計 2030年までの八年間の 新潟市はホームページで

「みんなで新潟市の強

『活力あふれ

や、市民の暮らしのイメー により実現されるまちの姿 三側面の豊かさの高まり

国や世界と人・モノ・情報 ジも示されている。まず、 とする。これにより地域の でつながる日本海拠点都市 経済面の豊かさは、市を全

みである食と農を活かした 活力の上昇や、新潟市の強 に向けたまちづくりが進 きる安心感を持つことがで や食で心身ともに充実で しやすくなる。さらに趣味 生活拠点のつながりによ 面では、家庭や地域、日常 能になるとしている。社会 のある雇用機会の創出が可 革新的ビジネスが生まれ ーボンシティ、循環型社会 災害に備えることがで 子育てや移動、交流が その結果、若者に魅力

潟、街中の花や緑などの豊 することで、未来へつなぐ かな自然環境と調和し共存 ţ, と示している。 田園や日本海、

した地方移住への関心な ている。三側面の豊かな調 和が図られることで、様々 も変化の兆しが見られる。 ど、東京一極集中の傾向に 情勢など、時代潮流の変化 れる重要性が高いと説明し り心の豊かさに価値が置か これからのまちづくりはよ が多い。若い世代を中心と な強みだ。現在は人口減少 様々な場面で新潟市の大き このことは暮らしやすさや 調和」という特徴を持つ。 や自然災害、変化する国際 新潟市は「都市と田園の

愛着と誇り感じる都市デザイン

なわち、暮らしやすいま るまちづくりを目指す。す 訪れたいまち、ビジネ

な分野で国内外から選ばれ

| りに関して、にいがた2㎞ | な強みがコラボレーション 市長はこれからのまちづく ちづくりに関して中原八一 スを展開したいまちだ。ま

新潟駅から新しい軸

市の強みである「食」と に立地する企業群と、新潟 「農」をはじめとする様々

価値が創造されることを期 待したいと述べた。 することによって、 新たな

架駅第一期開業など新潟の

そして現在、

町には堀が無かった。 化・多機能化し、都市機能 迎えている。市街地が高度

現在は少子高

| られた。 1869年の新潟 え、新潟は三大花街に数え 北前船により商いが盛んに 先に置かれた。 港開港時には河口部には大 た。その頃に料亭文化が栄 行われ、富がもたらされ きな洲がつき、 は堀と通り、それに直交す 的に作られた運河の町は、 在の位置に移転した。町に る小路が設けられた。人工 655年に、 税関も洲の アイデンティティとなるこ が新潟のイメージとなり、 蓄積してきたものが市民の 新潟にとっての「都市」の ザインだ。将来的にこの軸 る新潟のイメージの都市デ 暮らしと結びつく、魅力あ 化が必要と述べる。新潟が めに、都心部の役割の明確 のための拠点性の向上のた 齢化対策と持続可能な都市 の更新が始まっている。 とを目指すとしている。 新潟市は、

潟市の都市構造は変化し続

新潟港が1869年に開

の魅力を食と回答する人数 自然に関する項目が挙げら など水と親しめる街」など が最も多く、次いで自然が れる。県外在住者も、本市 おり、次いで「海、川、 関する項目が上位を占めて

地域への愛着と誇りを醸成

度は新潟駅を玄関口として

潟駅へと繋がってきた。 くりは、150年かけて新 行所から始まる軸の都市づ

現在の西堀通にあった奉

く繋がり発展してきた。 がり、市街地が縦の軸で深 信濃川に向かって層状に広 けてきた。新潟は、都心が 港してから約150年、新

するような、人を中心とす

政令指定都市という強みも 挙げられている。 新潟市は日本海側唯一の

ある。県の権限・財源の

中原八一市長は、「これ

民間・事業者との連携 [減やCO2の課題抱え 多角的な対処必要

くに人口減少と二酸化炭素 わせ、人口減少社会に適応 会の進行と若者層の東京圏 題があるが、その中でもと 新潟市の都市政策課は、 新潟市は現在、様々な課 | る。人口減少対策には、人 することが重要。その要因 口減少を和らげることとあ あらゆる政策を総動員し は複雑に絡み合っている。 流出などで人口減少が見込 まれている。特に生産年齢 新潟市は少子・超高齢社

応する必要があると述べ て、点ではなく面として対 会的影響をもたらすことが

べき最重要課題としてい

人口減少を新潟市の対処す

民生活に様々な経済的・社 人口の減少は企業活動や市

らの二酸化炭素排出量を含

要があるという。 恊働しながら進めていく必 体など多様な主体と連携・ 対策には、市民や民間の団

車依存度が高い。自動車か

懸念されている。人口減少

また、本市は市民の自動

宫

「米どころ」など食に

物がおいしい・食材が豊

交通の利用促進や電気自動 境政策課は、引き続き公共

越後平野の他に類を見ない

たい」と語る。これから る新潟市を共に創っていき

規模の農業基盤がある。 つの大河に育まれた肥沃な

は、

本市の強みを活かしつ

つSDGSの課題に向き合

けた対策が急務である。環 ためにはCO2の削減に向

|することを推進している。 市民、事業者が連携・恊働 暖化対策実行計画では市と 活用などに取り組みたいと 促進のほかシェアリングの 考えている。新潟市地球温 車等の次世代自動車の導入

本市が誇るべきものに 未来へ継ぐ新潟市

の新潟町は、現在の東中通

1615年から24年頃

よりも海岸よりの地にあ

加間だ。 の

化が感じられるような約2 つれみなとまちの歴史や文 の風格が、

古町に向かうに

いる。日本海交流拠点都市 る新しい新潟の軸を考えて

行政と市民で共に創る

の自治会等の加入率があ 高速道路、新幹線など人 治が進んでいる。さらに日 流・物流ネットワークの要 本海拠点都市として空港や 信濃川と阿賀野川の二 大都市ながらも住民自 たい、ぜひ未来に引き継げ 意見を様々な機会をとらえ ことが可能だ。 て市民や議会からいただき 化するといったアイデアや いをさらに膨らませる、 に関して、まちづくりの思 からの新潟市のまちづくり ス提供やまちづくりをする 域の実情に合わせたサービ 部が移されるため、より地

排出量は政令指定都市の中 めた運輸部門の二酸化炭素

は、

政令指定都市中第2位

で最も高い。ゼロカーボン

シティ、循環型社会実現の